

岡山市難聴高齢者補聴器購入費助成事業の装用前後アンケートを受 けられた方およびそのご家族の方へ

—「補聴器助成事業利用者の補聴前後調査を用いた有用性の検討」へ

ご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 聴覚支援センター 片岡 祐子

1) 研究の背景および目的

難聴の高齢者に対して、聞こえに関する知識を発信したり、補聴器の装用を働きかけることは、聞こえの状態を維持したり、改善したりするだけでなく、日常生活において生活の質を高めることにつながります。しかし、一般社団法人日本補聴器工業会がおこなった補聴器などに関する調査結果によると、日本では、難聴の人のうち、補聴器を持っている人の割合は約 15%となっており、デンマークやイギリスの 50%台と比較しても、大きく差が開いている状況となっています。

そういった背景もあり、岡山市、岡山大学、デマント・ジャパン（株）は、高齢者の難聴を早期に発見し、早期に対応していくための取組を決めて、聞こえを支えるまちの実現を目指しています。その取組の一つは、補聴器助成制度を利用する高齢者へ、補聴器装用前後のアンケートをおこない、補聴器装用で得られる効果についての結果をとりまとめるものです。そして、その結果については、高齢者を含めた市民へ広く発信しようと考えています。

2) 研究対象者

令和 6 年 9 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの間に岡山市が実施する 65 歳以上の軽度・中等度難聴者を対象とした難聴高齢者補聴器購入費助成事業を利用した方、150 名を研究対象とします。

ただし、①補聴器購入前または購入後約 6 か月時点の評価データが著しく欠損しており、解析が困難な方、②提供されるデータにおいて、研究利用が適切でないと判断された方、③その他、研究責任者が研究対象として不適切と判断した方は除外します。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～令和 9 年 10 月 31 日

情報の利用（または提供）開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

岡山市が実施している 65 歳以上の非課税世帯に属する軽度・中等度難聴者を対象とした補聴器購入助成事業において補聴器装用前後の評価を受けられた方で、装用前後のアンケートおよび補聴器技能者による評価データを選び、補聴器装用前後における聴取状態の変化に関する分析を行い、補聴器装用によって聞こえや生活がどう変化するかについて調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報としては、すでに提出されている補聴器技能者による評価データ（聴力、装用前・装用6ヶ月後語音明瞭度）、対象者本人への調査（装用前・装用6ヶ月後の聴取状況、生活状況、満足度）を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 外部への試料・情報の提供・共同利用の方法

この研究に使用する情報は、岡山市から岡山大学病院に電子配信にて提供します。提供の際、個人を特定できる情報を含まない状態で提供を受けます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

7) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院聴覚支援センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 二次利用

この研究で得られた情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

9) 研究資金と利益相反

この研究は、岡山大学 J-PEAKS 研究費の資金を用いて実施します。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も公的サービスにおいて不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

「一般的な問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先」

担当者所属：岡山市保健福祉局高齢福祉部高齢者福祉課 在宅支援係 係長 疋田 誉明

電話：086-803-1230（平日：8時30分～17時15分）

「研究についての専門的な問い合わせ」

研究責任者：岡山大学病院 聴覚支援センター 片岡 祐子

電話：086-235-6541 （平日：9時00分～15時00分）

<研究組織>

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 聴覚支援センター 片岡祐子

既存情報の提供のみを行う機関

機関の長 岡山市長 大森 雅夫

担当者所属・氏名 岡山市保健福祉局高齢福祉部高齢者福祉課 在宅支援係 係長 疋田 誉明